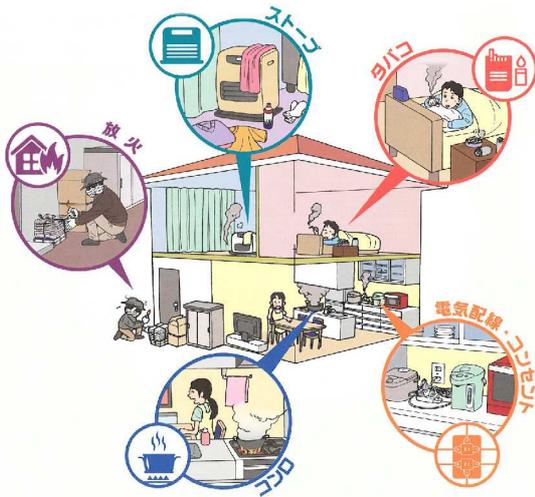


～家庭を守る防火のポイント～



着衣着火の消火

火が小さいうちは、
たたいて消しましょう。



部屋に花瓶などがあれば、
その水で消しましょう。



近くに流しやお風呂場があれば、
そこにある水をかけて消しましょう。



機になれるところでは
転がって消しましょう。



エプロンなどは
すぐ脱いで
消しましょう。

コンロ火災の原因 →

- 天ぷらなど調理中に火を消さずにその場を離れ出火
- 周囲の布巾や調理用油などに着火し出火
- グリルの残り油に着火して出火



ポイント

1 出火原因のワースト1

2 着衣着火が多い

衣類に火がついたら床に転がって消す方法も効果的。防災エプロンなどを着用する

3 IHコンロ（電気プレート）でも火災は起こる

IH調理器対応以外の鍋を使用して異状過熱したり、少量の油で調理して出火した例がある

4 カセットコンロの火災も多くなっている

カセットボンベが正常にセットされずガス漏れを起こしたり、大きな調理器具を使ってボンベが加熱され爆発し出火したことがある

電気配線・コンセント 火災の原因 →

- 冷蔵庫裏のコンセントなどからの
トラッキング火災
- タコ足配線によるコードなどの
過熱火災
- 重い家具の下敷きになり、
傷ついたコードの半断線による火災



トラッキング火災



ポイント

1 絶縁劣化した電気コードを使用したことによる火災もある

2 コードを引っ張ってプラグを抜くことにより、半断線になり 出火することもある

3 コードを束ねて使用し、発熱して出火した例がある

タバコ火災の原因 →

- 寝タバコ
- 灰皿の吸い殻の不始末
- 水に浸さずにゴミ箱に捨てる



ポイント

1 タバコ火災は死者発生原因のトップ

2 ガラスの灰皿が割れて火災になった

たくさんの吸い殻がくすぶり、熱膨張でガラスの灰皿が割れて吸い殻が飛散し、可燃物に触れて出火することがある

寝タバコで亡くなる例

タバコの火種が寝具に落下し燃え出す場合、長時間炎を出さずにくすぶり続ける。その際発生した一酸化炭素(CO)を吸引し、意識を失い、逃げられずに亡くなるケースも多い。

ストーブ火災の原因 →

- 周囲の可燃物に着火
(カーテン、布団類、新聞・雑誌、スプレー缶など)
- 乾燥に利用し、乾いた洗濯物が落下して着火
- 火を消さずに給油し、油漏れで出火



ポイント

1 電気ストーブの火災も多い

特に寝具などへの着火による火事が多く増えており、就寝や外出時は必ずスイッチを切ることが大切(寝具やカーテンに防災品を使う)

2 使用開始時期にはまず点検が大切

古い石油ストーブの管理不備で異常燃焼し出火した例もある



放火火災の原因 →

- 家のまわりに放置された新聞紙や段ボールに火を点けられた
- 空き家や空き室に火を点けられた
- 自動車やオートバイのボディーカバーに火を点けられた
- 取り込み忘れた洗濯物に火を点けられた



ポイント

1 人通りが少なく、人目につきにくい時間帯、場所で多く発生している

門扉や物置などには必ず鍵をかける

2 家の周りを明るくする

センサーライトなどを設置すると効果がある

3 自動車・オートバイ等のボディーカバーを防災品にする

4 ご近所との協力体制が大切

周辺に不審者がいたら声をかけるなどの協力が効果的